

平成 18 年度市民活動団体等支援総合事業 事業企画概要

事業名	山村の空き校舎と伝統芸能や山林・山水などの地域資源を活用し、新たなライフスタイルを提案・研修するための地元地域及び都市とのネットワークを形成する事業
地方公共団体名	愛知県
実施NPO等名	特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ
事業区分	ネットワーク事業
事業期間	平成 18 年 11 月～平成 19 年 3 月 31 日
実施場所	愛知県北設楽郡東栄町
事業の背景	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北設楽郡東栄町では、平成 18 年度から 22 年度にかけて、7 つあった小学校が一つに統合され、6 つの校舎が空き校舎となり、その活用方策が課題となっている。 ○ 東栄町は、愛知県の東部に位置し山林面積は 91% を占める。人口およそ 4500 人で高齢化率 43.6%、出生率 1.70 で日本各地の山村と同じく、過疎化・高齢化・少子化が激しく、労働力不足・産業衰退の一途となっている。こうしたなか、山林保全の危機だけでなく集落の崩壊さえ起きかねない事態となっている。 ○ 一方、都会では、健康に関心を寄せ、失われつつある自然や日本古来の伝統・文化などの保全・継承を求めたり伝統的な日本的ライフスタイルへの回帰を求める人たちが団塊世代を中心に増えている。 ○ 山村の維持は、国土の保全や環境対策のために必至の課題であるが、山村の人的資源だけで守るには限界があり都会からの人的資源の提供が必要になっており、その効果的なマッチングや継続的な交流システムの開発が必要とされている。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「山村の文化・伝統芸能『花祭り』」と「山村と健康」の二つのテーマをモデル的に取り上げ、山村(人)側が教師となり、都会(人)が生徒となって、空き校舎を交流研修拠点とし、山村の資源(自然資源・文化資源・人的資源等)を活用、モデル的な教育カリキュラムとシステム(ネットワークと継続事業化)を開発する。 ○ ネットワークづくりは、山村の受け入れ体制ネットワーク、都会の受講生募集のネットワーク、そして、山村と都会を結ぶネットワークづくりの三つとする。山村の体制づくりは、東栄町が実施している地域づくりリーダー養成事業との連携を図る。 ○ 交流研修講座「ニューライフ教室」の概要は、以下のとおり。 原則は、座学と実習を組合せ。土曜日 1 日・日曜午前半日で 1 回。 受講料は無料。交通費・宿泊費・材料代などは実費を受講生負担。 A 「山村の文化・伝統芸能『花祭り』」教室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 泊 2 日×2 回と祭り本番(数日～1 週間) ・ 座学内容:「花祭りの歴史」「花祭りの概要」など ・ 実習講座:踊り・笛の練習 ・ 実体験参加:「花祭り」に泊り込み参加。祭りの諸準備も体験。 B 「山村と健康」教室 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 泊 2 日×3 回 ・ 座学:「森林の健康効果」「山村の生活・文化」「東栄町の歴史・沿革」

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習講座：山歩き、森林浴、沢上り、山菜調理、山仕事、木工、 ○ 会場は、6つの廃校舎のうち、中設楽小学校を予定する。 ○ 生徒募集 ・ トヨタ自動車(株)、(株)デンソーなどトヨタグループ13社、(株)中部電力等の社会貢献担当部署やボランティアセンターを通じて生徒募集（退職者含む） ・ 愛知大学、愛知教育大学、農業高校などで学生を対象に募集 ・ 東栄町及び北設楽郡出身者、姉妹都市（市町）等行政関係で募集 ・ 市民活動支援センター、関連するテーマに取り組む市民活動団体に協力依頼 ○ マスコミやTVメディアとの連携を企画する。
事業に関するアピール	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戦後日本は農山村（農的社会）を犠牲にして都会を作ってきた。山村や山林の荒廃は激しく都会からの協働が必要。山村と都市の協働・共生の関係づくり、それが継続的に成り立つための関係づくりが重要で、本事業ではそのために双方の信頼関係や一体感づくりを重視し、人と人、心と心の交流、経済的裏づけの開発（有料事業化）をポイントにする。 ○ 都会（人）が関心を寄せる文化・健康・自然・コミュニティといったテーマを取り上げ、山村の資源を総合的に活用し、全国の山村活性化のモデルとなるような山村と都市のマッチングプログラム（交流研修事業）を開発する。 ○ 山村問題を「負の問題」と捉えず、山村には、都会人が無くしたり忘れて大事な日本の自然や伝統文化、知恵があり、都会がこれから地域コミュニティを再生していくにあたり学ぶべき積極的な価値がある。それを発見開発し学びあうことにより山村と都会を貫く地域活性化を実現し、双方の「ニューライフ」が生まれる。 ○ トヨタ自動車、中部電力といった日本有数の企業を含め、行政、企業、大学、NPOの協働体制により、山村の地域ネットワーク、都会のネットワーク、山村と都会のネットワークを作りあげる。協働のモデルをつくる。 ○ 「ツーリズム」と「定住」の中間的なプログラムを開発し、都会（人）の参加可能なプログラムをつくる。
実施体制	別紙参照下さい。
事業によって期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東栄町の空き校舎問題が解決する。 ○ 全国の山村振興・空き校舎活用のモデルとなる。 ○ 東栄町に地域協働ネットワークができる。人材が開発される。 ○ 継続交流により、東栄町の活性化が図られ、ニューライフが生まれる。 ○ 都市再生、地域再生への山村の知恵（自然との共生、地域コミュニティの意義と効果）が提供される。 ○ 都会人のライフスタイルが開発される。主にシニア世代のライフスタイルの開発に寄与できる。都会のニューライフが生まれる。 ○ 都会側に出来る受講生募集のネットワークは、東栄町に止まらず、ほかの地域の山村振興事業にも活用できる。

